



vol.310

10 かつ							11 かつ						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
(休)	毎	週	月	の	日	は	お	休	み	で	す。		
	月	の	日	が	祝	日	の	と	き	は	お	の	休
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
	(休)		お			お		(休)		お			お
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
お	休	(休)	お			お	お	(休)		お			お
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
(休)	(休)		お			お		(休)		お			お
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	開館時間		
お	(休)		お			お		(休)		お	平日 9:30~19:00		
30	31		お			お				お	土・日・祝 9:30~17:00		

えをかこう!  
読書の秋・芸術の秋です  
というわけで「えをかく」をテーマに  
えほんをあつめてみました



『はろるとむらさきのクレヨン』

かいたものはなんでも  
(まものになるクレヨンも  
もっているハロルド君。  
クレヨンでどんどんかきまわら  
ぼうけんの旅に♪  
「はろるとまほうのくにへ」  
「はろるとぶしぎなぼうけん」  
もありマス。



ドリュー・ティウオルト文  
オリヴァー・ジェファーズ絵  
木坂涼訳 (ほろ出版 2014年)

『クレヨンからのおねがい』

クレヨンたちっていつもなにを  
かんがえているのでしょうか?  
ケビンはある日クレヨンの箱  
から12つのでがみを  
みつけます。それは、12色の  
クレヨンたち。それぞれの  
おねがいでした。

館内おはなし会

- おはちび 0・1才児むけ(えほんなど) 第2日の第4回は11:00~
- おはすい 幼児~小学生向 水曜日 16:00~
- おはどん 土曜日 15:00~
- すばたりおはなし会 15:00~ (えほんなど使わないおはなしの日)

マスクしてきてね。検温連絡先記入  
おねがいで!

クロケット・ジョンソン作 1972年刊  
岸田衿子訳 文化出版局



『まほうのえのぐ』

よしみはありにちやんから  
かりたえのぐでえを  
かきまわら。うまくいきまわら。  
するとへびがえのぐを  
くわえていくではありませんか!  
よしみがおいかけていくと...

林明子作 福音館書店 1993年刊



『おおきなおおきなおいも』

おいも(里)が両手でえんき。  
ようちえんのこともたちは  
おいものえをかきこことになりました。  
そのえが、どんどん大きくなって  
いきます。

市村久子案 福音館書店 1980年刊



↑ 73おかいり  
とよかん  
QRコード





図書館では、0. 1. 2歳の子どものためのおはなし会を月に2回開催しています。毎月第2日曜日と第4水曜日の午前11時からです。

7ヵ月健診の時に実施されているブックスタート事業の時に宣伝をさせていただいているので、毎回小さなお子さんを連れてママたちから参加して頂いております。パパもおばあちゃんもね。

私も毎月一回担当させてもらっていますが、わらべうたとか、手遊びが得意ではないので、毎回絵本を選ぶのに苦労しています。その時の、絶対的支援者(?)、強力な助っ人を今回は紹介させていただきます。それは、だるまさんとパンダさんです。まずは、だるまさんの絵本から。『だるまさんが』(かがくいひろし作 2008年刊 ブロンズ新社)を紹介します。刊行以来、絶大な支持を受けている本ですので、子どもに関わる多くの大人の方が知っている本です。内容は、「だ、る、ま、さ、ん、が」の文字のある見開きのページに、かわるがわるに片足を上げて右左と体を揺らしているだるまさんの絵が。そして、次のページには、「どてっ」ところげたり、「ぷしゅ」とつぶれたり、「ぶっ」としつれいたりするだるまさんが描かれています。この絵本を読むと、子どもをひざにだっこしたまま、ママさんたちの体が、自然に揺れています。「おー。楽しそう」と毎回思います。

そしてパンダさん絵本は、「パンダなりきりたいそう」(いいやまさとし作 2016年刊 講談社)。これも、少し高度になりますが、ぴよんと飛んだり、まるまったり、やっぱり一緒に楽しんでくれます。読み手と聞き手の気持ち、ググッと近づき、「絵本楽しい♡」の気持ちのまま、次の絵本を読めば、楽しい時間を過ごすことができます。

きっと、おうちでひざにだっこして読んでも、体が自然に動くのかな?と思います。小さい子と絵本とのかかわりは、楽しいリズムや、見たことある動物、美味しそうな食べ物など、子どもの心に響くものがあると、楽しくなってくるのでないでしょうか。

だるまさんにも、パンダさんにも、シリーズ本があって、どれもよく読まれています。ぜひ、手に取ってみてくださいね。



「だるまさんが」  
かがくいひろし 作  
2008年刊  
ブロンズ新社



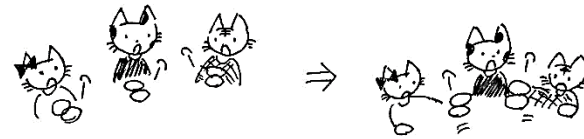
「パンダなりきりたいそう」  
いいやまさとし 作  
2016年刊  
講談社

# 〜てあそび★わらべうた やってみよう〜

## 「らっかさんがそろたら」

まねっこあそびのうたです。テンポがそろうときもちいい!

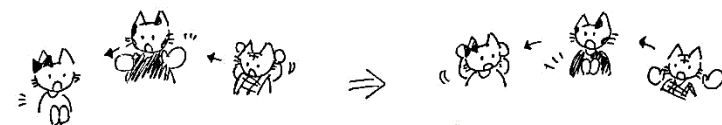
♪ らっかさんがそろたら まわそじゃないか



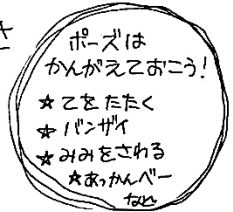
(数人で わになって、自分の手ととなりの子の手をじゅんぱんにたたく)



♪ ふいやさの ふいやさ ふいやさの ふいやさ



(「ふいやさの」で なにかポーズをして、  
「ふいやさ」で 右となりの人のまねをする。つぎつぎ となりの人のまねをする)



参考・引用文献:  
近藤信子  
「にほのわらべうた  
③おぼしてぶしゅ  
福音館書店

